



# 湯島だより

令和6年度 4月号  
文京区立湯島小学校  
校長 小池 夏子

## 温かさがあふれる学校に

校長 小池 夏子

ここ数年間は桜の開花が早くなり、もう入学式で満開の桜を見ることは叶わないものかと思っておりましたが、今年は季節が応援してくれたのでしょうか、桜の花が見守る中で、入学式、始業式を迎えることができました。新たに88名の1年生を迎え、全校児童454名で、希望と期待の令和6年度がスタートいたしました。

子供たちは、それぞれに「進級」をきっかけとして、様々な人たちや出来事と出会い、夢や希望、そして自覚をもつようになります。4日には、新6年生が登校し、新1年生を迎えるための準備をしました。6年生は、かわいい1年生を迎えるための教室の準備や装飾にすすんで取り組みました。細かなところまで気を配り、自分の力を役立てようとする姿勢に、最高学年としての心構えが感じられました。新2年生は、入学式での歓迎のオープニングセレモニーで、お兄さんやお姉さんとして新たな役割を担ったことを新入生の前で堂々と披露しました。どの学年も、1つ学年が上がることによる期待感を、学習や生活への活動エネルギーに変えて、元気いっぱいに新学年での学びを深めていってほしいと思います。

さて、これからの時代を生きる子供たちが、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となっていくためには、知識や技能を身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力等を十分に活用していくことが大切です。そして、これらを生かしていくためには、最後までねばり強くやりぬく力や、自分の行動を調整・コントロールする力、互いに譲り合い調和を図れる力、前向きな気持ちをもてる力等を育てていくことが求められます。このことを踏まえ、今年度、本校では、通信表においてはより長期的な視点で子供たちの成長や変容を伝えていくとともに、教師が子供たち一人一人と向き合い、子供たちのよさや伸びる姿をその時々適切なタイミングで伝えていくことも、さらに充実させていくことといたしました。子供にとってのよりよい学びの充実と、教師にとっての工夫改善とがベストミックスで好循環のスパイラルを形成していくことで、子供たちのよりよい成長につながっていくことを目指していきます。

\* \* \* \* \*

子供たちの成長に携わることができる「教育」とは、何とロマンあふれる素敵なお仕事でしょうか。子供たちの優しさあふれる笑顔や輝く表情に出会うたびに、改めて実感します。令和6年度も、全教職員が力を合わせ、子供たちがより一層温かく優しい心で互いに関わり合っていく「温かい学校」を目指し、全力で教育活動に取り組んでまいります。

子供の教育は、学校だけでできるものではありません。保護者・地域・学校がそれぞれの役目を果たしていくことが大切です。これまでの教育活動を基盤に、常に子供を中心軸として、地域に根ざし、地域に開かれ、地域の誇りとなる学校になるよう努力してまいります。保護者・地域の皆様には、今年度も本校の教育活動に御理解と御支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

